

エスニシティに基づいた空間は どのように形成されるのか

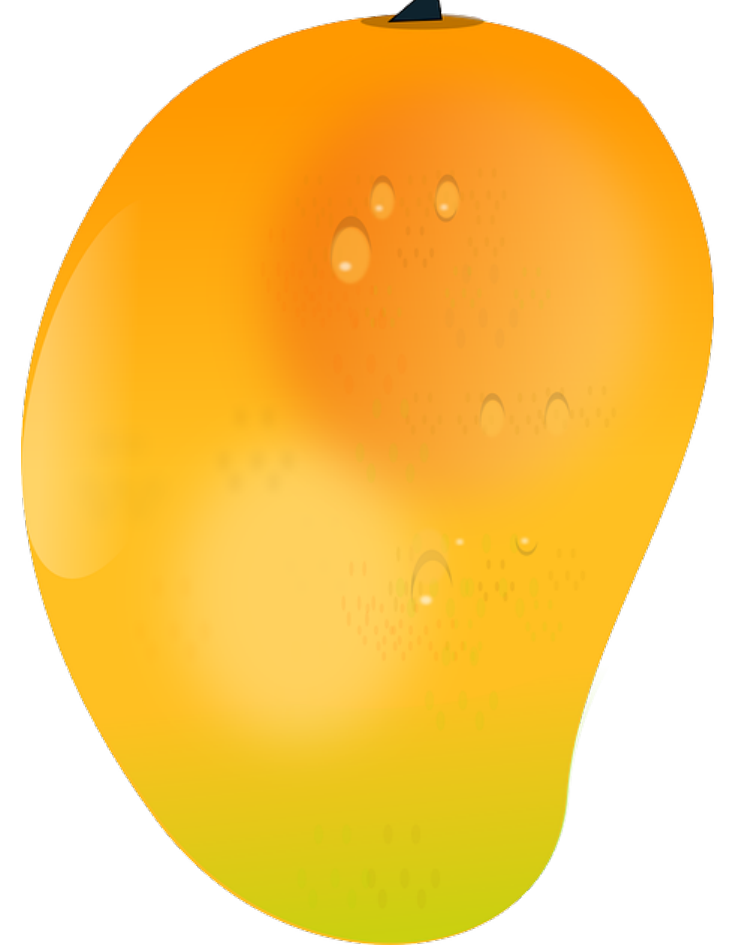
—日本のベトナム系およびパキスタン系
「コミュニティ」の事例より—

山下里香・安達真弓・林貴哉

2023年6月18日

JALP25 日本言語政策学会研究大会

本PDF資料は、予稿や口頭での趣旨説明の補完資料として作られています。関連の先行研究については、大会予稿をご参照ください。



理論的・方法論的な課題と試み

産業構造が変わり、住民が多様化する時代において「集住地」とは？

- 線で囲わず、点と点を結ぶ

「（公共）空間」におけるコミュニケーションとは？

- 看板の言語を数えるだけでは、足りない
- メディア、SNS、言語イデオロギー、諸関係者の言説・ナラティブとの相互作用
- 言語以外の要素（記号的資源など）

多様化の中、「コミュニティ」とは？

- コミュニティ内での、移住の歴史的経緯、出身地、居住地、世代、言語運用能力、職種などの多様性
- エスノグラフィー的な研究
- 繰り返し行く（通う）
- 別な場所に生起する「同じコミュニティ」を追う

「集住地」に代わる「エスニシティに基づいた空間」

- (a) 宗教コミュニティ (林、山下)
- (b) 集住地域と呼ばれる地域 (安達、林、山下)
- (c) コミュニティ成員が多く集まるイベント (安達、山下)
- (d) 食料品店・料理店 (安達、山下)

本パネルの趣旨は、「集住地」にまつわるやや時代遅れの「言語景観的」なイメージを解体すること、それにまつわる理論やテーマや方法を考えることにあり、「エスニシティに基づいた空間」を絶対的な概念として定義し強調することにあるわけではない。

本パネルの予定

趣旨説明 山下里香 (約5分)

安達真弓 (約15分+質疑応答5分)

「多文化共生」を掲げる祭りにみられるエスニシティーベトナム語の使用に焦点を当ててー

林貴哉 (約20分+質疑応答5分)

宗教コミュニティにおけるコミュニケーションーベトナム人集住地域に位置するカトリック教会に注目してー

山下里香 (約20分+質疑応答5分)

「エスニシティーに基づいた空間」の社会言語学ー日本のパキスタン系「コミュニティ」の事例を交えてー

総合討論 (約15分)

謝辞

本研究は以下のプロジェクトの成果の一部です。

アジア・アフリカ言語文化研究所 共同利用・共同研究課題

「移民の継承語とエスニックアイデンティティに関する社会言語学的研究」 (JRP00267)